

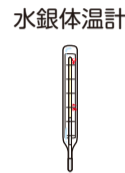
危険

有害ごみの分別徹底をお願いします

電池・蛍光灯・水銀血圧計・水銀体温計・電球形蛍光灯などの水銀製品やライターは有害ごみです。**燃やすごみ、燃やさないごみ、プラスチックごみ等、他のごみの中に絶対に混入させないでください。**

特にリチウムイオン電池等の混入による発火事故が多発しています。電池やライターは、収集車両や処理施設等での火災や爆発事故を起こす可能性があります。また、水銀製品が混入すると、処理施設の運転が停止して、処理が滞る可能性がありますので、きちんと分別するようご協力をお願いします。

有害ごみの日に出してください



※詳しくは、ごみ・リサイクルカレンダーでご確認ください

充電式電池が外せない製品も**有害ごみ**で出してください。
※「電池が外せない」と張り紙をしてください

充電式電池が外せない製品 (例)



絶対に他のごみに混ぜないでください！
混入している場合、収集しません。

水銀製品の適切な分別を

6月4日、5日に燃やすごみの中に水銀を含むごみが混入していたことが原因で、浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設の排ガス中水銀濃度が、一時的に公害防止基準値 (50 μ g/m³N) を超える事態が発生しました。

燃やすごみの中に水銀などの有害物質が混入してしまうと、最悪の場合、焼却炉の稼働停止という事態となり、3市のごみ収集・処理業務にも影響を及ぼし、周辺住民の健康にも多大な影響を及ぼす可能性があります。水銀などの有害物質を含む製品は必ず有害ごみとして分別して出してください。

リサイクル



使用済みステンレス製ボトルの回収を開始しました

市では、SDGsのめざす持続可能な社会の実現に向け、第5次基本構想・前期基本計画および一般廃棄物処理基本計画に発生抑制を最優先とした3Rの推進を掲げています。令和4年1月に発出した気候非常事態宣言を踏まえ、マイボトルの利用促進による廃棄物の発生抑制を推進するため、昨年9月、民間事業者と協定を締結し、ボトルディスパンサー型給水機を市内13の公共施設に設置しました。

さらなるマイボトル利用促進に向けた施策として、マイボトルの普及およびステンレス製ボトルの再資源化と環境に配慮した社会の形成をめざすことを目的としてタイガー魔法瓶株式会社とマイボトル利用環境の整備促進に関する協定を締結しました。ステンレス製ボトル回収ボックスは、市役所第二庁舎1階入り口に設置しています。ぜひご利用ください。

〈投入の際の注意点〉

- ・使用済みのステンレス製ボトル (金属製の水筒) 専用の回収ボックスです。
- ・カバーなどの付属品は分別し、ステンレス製ボトルのみ投入してください。
- ・中を洗い、水気をふき取りよく乾かしてから投入してください。



〈再資源化モデルイメージ図〉



※再生ステンレス材を利用した製品は、ステンレス製ボトルのみとは限りません